

論文審査の結果の要旨および担当者

|      |   |   |   |   |
|------|---|---|---|---|
| 報告番号 | ※ | 甲 | 第 | 号 |
|------|---|---|---|---|

氏 名 岩瀬紗代子

論 文 題 目

A LONG-TERM FOLLOW-UP OF PATIENTS WITH RETINOPATHY  
OF PREMATUREITY TREATED WITH PHOTOCOAGULATION AND  
CRYOTHERAPY


(光凝固治療と冷凍凝固治療をうけた未熟児網膜症患者の

長期経過)

論文審査担当者

名古屋大学教授

主 査 委 員

小 島 馨 

名古屋大学教授

委 員

秋 山 真 志 

名古屋大学教授

委 員

宮 田 卓 穂 

名古屋大学教授

指 導 教 授

奈 崎 浩 子 

## 論文審査の結果の要旨

今回、網膜光凝固術と冷凍凝固術を受けた未熟児網膜症患者のうち15年以上経過を追うことのできた症例について検討した。未熟児網膜症発症時の所見はカルテを参照し、患者を治療範囲により網膜全周に治療を受けた群と部分的な治療の群にわけた。成長後の眼科学的諸検査を二群で比較した。治療範囲が大きいほど前房深度は減少し、水晶体厚が有意に増加していた。屈折、眼軸、角膜曲率半径では有意差がみられなかった。

本研究に対し、以下の点を議論した。

1. 今回は未熟児網膜症を発症し治療を受けた患者を治療範囲で二群にわけた。患者背景では平均出生体重と平均在胎週数に有意差があった。治療範囲が広い群で有意に体重は少なく、週数は短かった。これらから眼の未熟性による影響も考えられる。また、網膜全周にわたって治療を必要とされるより重症の未熟児網膜症自体も原因となった可能性がある。今回は同一症例で片眼ずつにそれぞれ全周と部分の治療をおこなった症例はなかった。また、一卵性と考えられる双胎症例では全周の治療を受けた患児で有意に水晶体厚が大きかったが出生体重が有意に小さかった。多因子の影響があり凝固治療自体が与えた影響を独立して評価できないと考えられた。
2. 未熟児網膜症の自然経過にて瘢痕治癒した症例では瘢痕の重症度が高いほど水晶体厚が増加していたとの報告がある。凝固治療の有無だけで比較するには同一症例で片眼に凝固治療、片眼の自然経過をみた症例で検討する必要があると考えられた。
3. 水晶体原基は球状であり、出生直後から徐々に扁平化をきたし水晶体厚は減じる、その後成長とともに水晶体は直径、厚さともに増加する。このうち、治療後の未熟児網膜症患者では治療瘢痕による眼球全体の発育不全が扁平化を阻害し、球状を保ち結果的に成長後の水晶体厚が増加すると想定されている。
4. 今回は、成長した患者の最終受診時に眼科学的検査をおこなった。そのうち光干渉断層計は近年用いられるようになり、前眼部および後眼部を撮影することができる。今後の研究では、胎児の撮影はできないが、出生直後の未熟児の段階から光干渉断層計を記録し年齢ごとの成長変化を観察できると考えられる。

以上の理由により、本研究は博士（医学）の学位を授与するに相応しい価値を有するものと評価した。

## 試験の結果の要旨および担当者

|   |     |      |       |       |       |
|---|-----|------|-------|-------|-------|
| 報告番号  | ※甲第 | 号    | 氏名    | 岩瀬紗代子 |       |
| 試験担当者   |     | 主査   | 小島 啓  | 秋山 真志 | 宮田 卓樹 |
|   |     | 指導教授 | 赤崎 浩子 |       |       |
| (試験の結果の要旨)  |     |      |       |       |       |
| <p>主論文についてその内容を詳細に検討し、次の問題について試験を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 光凝固術と冷凍凝固術が水晶体厚の増加にもっとも影響したといえるか</li> <li>2. 水晶体厚の増加に影響すると考えられる他因子</li> <li>3. 水晶体厚が増加する機序について</li> <li>4. 光干渉断層計による検査の現状と展望について</li> </ol> <p>以上の試験の結果、本人は深い学識と判断力ならびに考察力を有するとともに、眼科学一般における知識も十分具備していることを認め、学位審査委員合議の上、合格と判断した。</p> |     |      |       |       |       |